

# 排出枠売買を支援

## 宮崎銀 地元企業間に特化

宮崎銀行は24日、企業が他社の温暖化対策を支援する見返りに二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出枠を得る「国内クレジット制度」に参加、取引する企業の支援を始めたと発表した。宮崎県内に本社を置く企業間の排出枠売買に特化して排出枠の地産地消を進める。排出枠の売り手企業や買い手企業の環境経営促進のほ

か、売り手企業の省エネルギー設備投資で資金供給にもつなげる。第一弾として、産業廃棄物運搬・収集の山崎紙源センター(宮崎市)が製材業のエンジニアウッド宮崎事業協同組合(都城市)の木質バイオマス(生物資源)ボイラー新設を支援し、年間435トンのCO<sub>2</sub>排出枠を取得する。宮崎銀は両者を排

出枠の取引を専門に手掛けるFTカーボン(東京・江東)を紹介した。